



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第170号

R6.7.18

文責 中西 勉



5-3「夏祭り」での心温まるプレゼント

昨日の午後、5-3の子供たちが、1学期の最後に楽しい思い出を作ろうと「夏祭り」を行いました。その夏祭りには、日頃から交流を深めている6-3の子供たちと共に、私も招待してもらいました。5-3の子供たちが、自分たちで考え、苦心して作った5種類のアトラクション（輪投げ、射的、的当て、くじ引き、スーパーボールすくい）は、手作り感が満載でしたが、お客さんを楽しませようとする思いがよく伝わってきました。そして、お客さんに応対する子供たちの姿勢が本当に健気で、とても微笑ましく感じました。そのお陰で、1時間、私も童心に返って、6-3の子供たちと一緒に、アトラクションを存分に楽しませてもらいました。

こうして、楽しい気分で5-3の教室を後にしようとしたとき、5-3の子供たちに「校長先生、こちらに来てください」と呼び止められました。どうしてかなと思いつつ、子供たちの前に立つと、代表の子供が「校長先生は、今年が最後の年なので、今日は一緒に楽しみたいと思って来てもらいました。ありがとうございます」とお礼の言葉を述べつつ、一人一人が書いた手紙を渡してくれました。この思いがけない心温まるプレゼントには、本当に胸を打たれました。

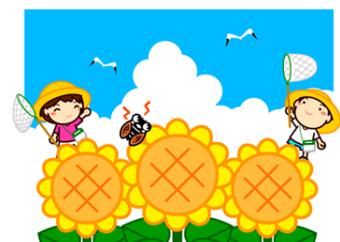
思えば、今の5年生が入学するのと時を同じくして、私はこの男川小にやってきました。それ以来、5年間を共に過ごしてきた子供たちとは、数々の貴重な思い出があります。そんな大切な宝物を子供たちと共有し、心が通じ合っていることを嬉しく思います。夏休みの最終日に、私は60歳という人生の節目を迎えるのに伴い、今年度をもって役職定年となりますが、一足早く、5-3の子供たちから温かい思いを届けてもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。



梅雨明け！夏本番！ ～有意義な夏休みを！～

今日は、早朝から青空が広がり、真夏の太陽が輝く暑い日となりました。そして、本日、東海地方の梅雨明けが発表され、夏本番が到来しました。

明後日から、子供たちにとって大変楽しみな39日間の夏休みが始まります。子供たちには、健康と安全に気を付けながら、自分のやりたいことに積極的にチャレンジして、有意義な日々を過ごしてほしいと思います。



▲子供たちと輪投げを楽しむ



▲手紙のプレゼントを受け取る



▲5-3、6-3の子供たちと一緒に記念撮影